



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社トリドールホールディングス
(コード番号 3397 東証プライム市場)
代 表 者 名 代表取締役社長 栗田 貴也
問 合 せ 先 取締役 兼 CFO
兼 ファイナンス本部長 山口 聡
電 話 番 号 03-4221-8900

三井住友銀行「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による資金調達のお知らせ

株式会社トリドールホールディングス(以下、当社)は、株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:福留 朗裕)(以下、三井住友銀行)との間で、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による資金調達を実施いたしました(以下、本件ファイナンス)。

記

1. 借入概要

本件ファイナンスは、当社が掲げる「心的資本経営」に着目し、従業員の心の幸せを表す「ハピネス」を評価指標の一つとして設定した、本邦初のポジティブ・インパクト・ファイナンスです。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした融資です。また、当社の経営思想を重点取組項目として明確化することで、目に見えにくい「心」の価値を、企業の持続的成長を支える経営資本として捉え、ローンを通じてその実践と可視化を後押しすることに、本取組の大きな特徴があります。

【本件ファイナンスの概要】

契約日	2026 年 10 月 28 日
融資金額	27 億円
契約期間	7年
資金使途	事業資金および投資資金等

当社は、「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、お客さま・従業員そしてすべてのステークホルダーに寄り添い、コミュニケーションと協働を図ることでこれからも新しい価値と感動を創造し続け、持続可能な社会を実現することを目指しています。

その原動力となる経営思想として、当社は心的資本経営を掲げました。心的資本経営とは、人的資本経営をさらに深化させ、「従業員の“心”の幸せ」と「お客さまの“心”の感動」を重要な資本と捉え、その好循環を通じて持続的な事業成長を目指す当社の経営思想であり、その起点を、従業員の心の幸せである「ハピネス」と位置付けています。従業員が充実した気持ちで働くことで内発的な動機が生まれ、お客さまの「感動」、さらには店舗の「繁盛」につながります。そして、繁盛によって得られた成果を従業員に還元することで、ハピネスをさらに高めるという好循環を、「ハピカン繁盛サイクル」と定義しています。また、従業員のハピネスを「安心感」「つながり感」「貢献実感」「誇り」の 4 つの要素から捉え、その状態を測定・可視化する独自のサーベ이를整備しています。こうした取組を通じ、従業員一人ひとりの内発的動機を引き出すとともに、従業員の幸せ、お客さまの感動、事業成長のつながりを継続的に検証・高度化しています。

本件ファイナンスにおいて、当社の事業活動に関連する重要なインパクト領域を評価して決定した重点取組項目および評価指標は次の通りです。

＜重点取組項目及び評価指標＞

重点取組項目		評価指標	関連する SDGs
私たちの ハピネスを 高める	私たちのハピネスを高める 風土づくり	<p>＜目標＞</p> <p>2026～2027 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハピネススコア回答率(%)を前年度平均以上とする <p>2028～2029 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハピネススコア回答率(%)について、前年度平均を維持する ・ハピネススコア(点数)について、前年度平均を上回る <p>＜評価指標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハピネススコア回答率／点数 	 
	人が居続ける 組織	<p>＜目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026 年度以降社員の離職率 15%以下 <p>＜評価指標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の離職率 	
食の感動創造	食の楽しさ・ 豊かさの提供	<p>＜目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2028 年度までに食育プログラム実施回数 60 回 ／参加者数 1,000 名 <p>＜評価指標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育プログラム実施回数／参加者数 	
	食品安全文化の 醸成	<p>＜目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026 年度以降フードセーフティ研修受講率 100%維持 <p>＜評価指標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードセーフティ研修受講率 	

	食を通じた 社会貢献	< 目標 > ・2028 年度までに従業員ボランティア参加人数 150 名／参加時間 500 時間 < 評価指標 > ・従業員ボランティア参加人数／参加時間	 
地球と共に	資源循環の推進	< 目標 > ・2028 年度までに食料廃棄物排出量(原単位)100kg／百万円 < 評価指標 > ・食料廃棄物排出量(原単位)	 

※ 2030 年度以降の目標値は期中で更新予定

なお、本件ファイナンスについては、三井住友銀行(<https://www.smbc.co.jp/hojin/financing/sustainable/pif/>)
 および当社ホームページ(<https://toridoll.com/sustainability/about/>)でもご確認いただけます。

以 上